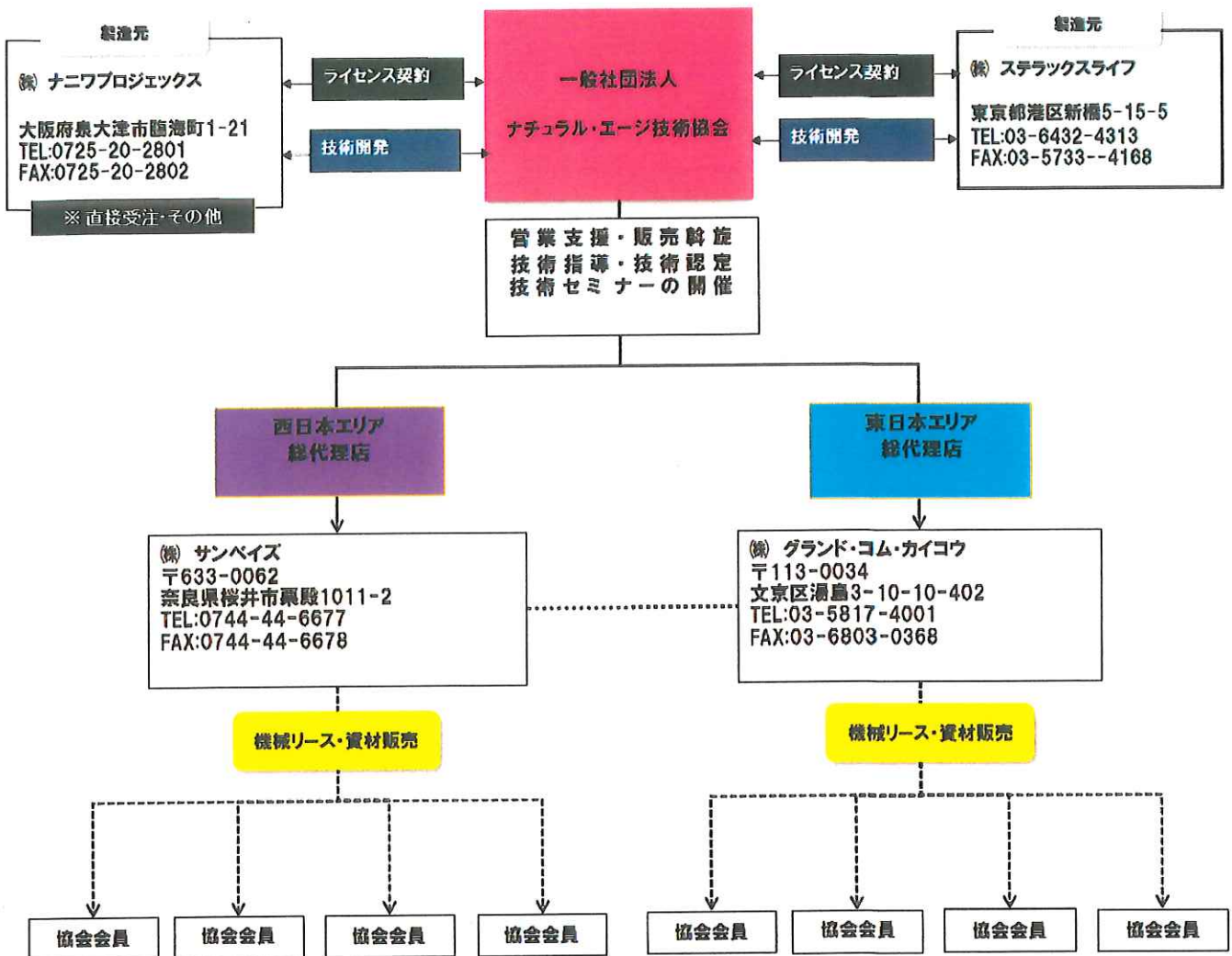


協会の組織体制



インターレジエンス工法による岸和田城の再生



岸和田城は、大阪府岸和田市岸城町にあった日本の城である。別名千亀利城。江戸時代には岸和田藩の藩庁が置かれた。庭園は国の名勝[1][2]、城跡は大阪府の史跡に指定されている。

建武元年（1334年）前後に、和田高家が現在の岸和田城跡から約500m東（野田町1丁目周辺）に岸和田古城を築城。「岸の城」とも言われた。その後『日本城郭大系』によると信濃泰義によって現在地に移築されたとしている。※引用文献：「フリー百貨辞典」